

■チェコ：大手事業者 CEZ、石炭火力 100 万 kW を 2020 年半ばまでに閉鎖へ

2019 年 3 月 25 日付専門誌によれば、チェコ大手 CEZ は 2020 年半ばまでに同社が所有する合計出力約 100 万 kW 分の石炭火力発電設を閉鎖する見通しである。同社の Benes 会長によれば、EU におけるエネルギー・気候変動政策に対応する設備改修費用を考慮すると、2020 年半ば以降、こうした設備を継続して運用することは経済的に難しいとしている。閉鎖される発電所は、Prunerov I 発電所 (44 万 kW)、Melnik III 発電所 (50 万 kW)、Melnik II 発電所 (11 万 kW) となる予定である。石炭火力発電所の閉鎖計画 (2045~2050 年) は、2015 年に発表されたチェコのエネルギー政策でも示されているが、CEZ が閉鎖する発電所名を特定したのは今回が初めてとなる。